

みつぎ便り

108号
9月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成27年9月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>

おしろい花（夕化粧）

夏、赤いおしろい花が公園ボー
ト小屋の裏側で夕方から芳香を
漂わせ咲いています。しかし翌
朝には閉じてしまします。

この花は比較的乾燥に強い
め頻繁に水やりをやらなくても、
また半日陰という条件にも応え
てくれる手間いらずの有り難い
花です。冬に地上部が枯れても、
地下部は生き残り翌年には根か
らまた芽を出します。

おしろい花の名前の由来は、
秋になり花が終わると花の根元
に黒い実が出来ます。実には種
子が入っていて、その種子
には白い粉状の胚乳がついてお
り、これが白粉（オシロイ）の
ようであることからです。ちな
みに命名者は貝原益軒と言われ
ています。

また江戸時代にはこの白い粉
を「おしろい」の代用として実
際に使われていたようです。夕
方に美しく咲き香る様が、白粉
を塗り化粧して出かける夜のレ
ディに重ね合わせられたようで
す。

皆さんはこの花で落下傘を
作ったことがありますか？（雅）



トウキョウヒメハンミョウ

ハンミョウと言う昆虫をご存
じですか？今回はこの仲間をご
紹介します。トウキョウと名前
がついていますが、東京にだけ
に生息しているわけではありま
せん。関東周辺のほか九州方面
などにも確認されています。

この虫は体長が、ヒメと名が
つくように八ミリ前後しかあり
ません。体色は暗銅色をしてお
り、はねには薄い白色の斑点模
様が見られます。

食性は主にアリ、ミミズなど
小さな昆虫のほか、虫の死骸な

ども食べるようです。

生息場所は主に日陰の少し
湿った土の場所を好んでいるよ
うで、公園や家の裏などでよく
見られます。最近では東京でも見
かけることが少なくなっている
ように思います。

こどもの頃の記憶ですが、普
通に公園、庭、土の道など歩い
ていると足下から低くまっすぐ
飛び立ち、二、三回先の進行方向
に降り、また、近づくると飛び立
ち同じように降りるの繰り返し
をします。あたかも、虫が道案
内をしているかのように感じた
ことを思い出します。

あまり目立たない昆虫ですが、
ぜひ探してみてください。（圭）

